



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)本郷通1丁目北の集合住宅新築工事	階数	5
建設地	札幌市白石区本郷通1丁目北7-1、8-1、-3、-4	構造	RC造
建物用途	集合住宅	平均居住人員	108 人
竣工年	2025年6月 予定	年間使用時間	8,640 時間/年(想定値)
敷地面積	1,328 m ²	評価の段階	実施設計段階評価
建築面積	514 m ²	評価の実施日	2025年8月4日
延床面積	2,499 m ²	作成者	
		確認日	
		確認者	

※ここに外観パースを貼り付けてください。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.4 ★☆☆☆☆ C S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 環境品質 Q 環境負荷 L	3(保健) 2.0 4(教育) 2.6 5(ジェンダー) 2.3 6(水・衛生) 2.1 7(エネルギー) 2.4 8(経済・雇用) 1.9 9(インフラ) 2.4 11(都市) 1.7 12(生産・消費) 2.0 13(気候変動) 1.8 15(陸上資源) 1.6 17(実施手段) 2.1 * SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境
		2-4 一次エネルギー消費量の評価 建物全体の[BEI][BEIm] ZEB/ZEH-Mランク 0.95 非該当

2-4 中項目の評価(バーチャート)
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.6 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 1.9 Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.0 LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.5 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.4 LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項			
総合		A 省エネルギー	
限られた条件の中で、快適な住環境を目指した。		照明設備LEDを採用。	
B 省資源等		C 緑化	
特になし		特になし	
		D 雪処理	
		特になし	

4 ほかの認証・評価制度の利用					
(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	なし	BELS認証	なし	LEED認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用	-				

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 環境品質Q=25×(Qのスコア-1)、環境負荷L=25×(5-LRのスコア)より算出

CASBEE_Sapporo2021v1.0
 (仮称)本郷通1丁目北の集合住宅 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2021v1.0

■評価ソフト: CASBEE札幌2021 (ver.1.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
			評価点	重み 係数	評価点	重み 係数			
Q 建築物の環境品質							1.9		
Q1 室内環境				0.40		-	2.6		
1 音環境			3.0	0.15	3.0	1.00	3.0		
1.1 室内騒音レベル			3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音			3.0	0.50	3.0	0.50			
1 開口部遮音性能			3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能			3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音			-	-	-	-			
2 温熱環境			3.0	0.35	3.3	1.00	3.2		
2.1 室温制御			3.0	0.50	3.7	0.50			
1 室温			3.0	0.63	3.0	0.63			
2 外皮性能			省エネ	住棟UA値 0.31	3.0	0.38		5.0	0.38
3 ゾーン別制御性			-	-	-	-		-	
2.2 湿度制御			-	3.0	0.20	3.0		0.20	
2.3 空調方式			-	3.0	0.30	3.0		0.30	
3 光・視環境			1.2	0.25	1.3	1.00		1.2	
3.1 昼光利用			1.8	0.30	2.0	0.30			
1 昼光率			1.0	0.60	1.0	0.50			
2 方位別開口			-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備			省エネ	-	3.0	0.20			
3.2 グレア対策			1.0	0.30	1.0	0.30			
1 昼光制御			省エネ	-	1.0	1.00			
3.3 照度			-	1.0	0.15	1.0		0.15	
3.4 照明制御			-	1.0	0.25	1.0	0.25		
4 空気質環境			3.0	0.25	3.0	1.00	3.0		
4.1 発生源対策			3.0	0.60	3.0	0.63			
1 化学汚染物質			3.0	1.00	3.0	1.00			
4.2 換気			3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能			-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33			

	4.3 運用管理					-		-	
	1	CO ₂ の監視		—		-		-	
	2	喫煙の制御		—		-		-	
Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	1.9
1	機能性				2.1	0.40	1.6	1.00	1.7
	1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	2.0	0.60	
	1	広さ・収納性		—		-		-	
	2	高度情報通信設備対応		—		-	2.0	1.00	
	3	バリアフリー計画		—	3.0	1.00		-	
	1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	1.0	0.40	
	1	広さ感・景観		—		-	1.0	0.50	
	2	リフレッシュスペース		—		-		-	
	3	内装計画		—	1.0	1.00	1.0	0.50	
	1.3 維持管理				2.0	0.30		-	
	1	維持管理に配慮した設計		—	2.0	0.50		-	
	2	維持管理用機能の確保		—	2.0	0.50		-	
	2 耐用性・信頼性				2.6	0.30		-	2.6
	2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		—	3.0	0.80		-	
	2	免震・制震・制振性能		—	3.0	0.20		-	
	2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30		-	
	1	躯体材料の耐用年数		—	3.0	0.20		-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	—	3.0	0.20		-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	11年以上20年未満	4.0	0.10		-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	15年	4.0	0.10		-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	—	3.0	0.20		-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	—	3.0	0.20		-	
	2.4 信頼性				1.0	0.20		-	
	1	空調・換気設備		—	1.0	0.25		-	
	2	給排水・衛生設備		—	1.0	0.25		-	
	3	電気設備		—	1.0	0.25		-	
	4	機械・配管支持方法		—	-	-		-	
	5	通信・情報設備		—	1.0	0.25		-	
3	対応性・更新性				1.4	0.30	1.5	1.00	1.4
	3.1 空間のゆとり					-	1.0	0.50	
	1	階高のゆとり		—		-	1.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		—		-	1.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			—	2.0	-	2.0	0.50	

3.3 設備の更新性				1.4	1.00		-	
1	空調配管の更新性		—	1.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		—	1.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		—	1.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		—	1.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		—	1.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		—	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	1.0
1	生物環境の保全と創出	緑化	—	1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	緑化	—	1.0	0.40		-	1.0
3	地域性・アメニティへの配慮			1.0	0.30		-	1.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	—	1.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	—	1.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	2.9
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.5
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	BPI= 0.00 品確法= 等級4を 超える	—	5.0	0.20		5.0
2	自然エネルギー利用	省エネ	—	2.0	0.10		-	2.0
3	設備システムの高効率化	省エネ	BEI= 0.95	—	3.5	0.50		3.5
4	効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価				-		-	
4.1	モニタリング	省エネ	—		-		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	—		-		-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング	省エネ	—	3.0	1.00		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	—	-	-		-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.4
1	水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1	節水		—	3.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		—	3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		—	3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60		-	2.5
2.1	材料使用量の削減	省資源	—	3.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	省資源	—	3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	—	3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	—	1.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	省資源	—	2.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	—	3.0	0.20		-	

3	汚染物質含有材料の使用回避				1.8	0.20		-	1.8
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			—	3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避				1.3	0.70		-	
	1	消火剤	省資源	—	1.0	0.33		-	
	2	発泡剤(断熱材等)	省資源	—	1.0	0.33		-	
	3	冷媒	省資源	—	2.0	0.33		-	
	LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	2.5
1	地球温暖化への配慮		省資源	—	3.1	0.33		-	3.1
2	地域環境への配慮				1.8	0.33		-	1.8
	2.1 大気汚染防止		省資源	—	3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 緑化 雪処理	—	1.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.2	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減	省資源	—	3.0	0.25		-	
	2	汚水処理負荷抑制		—	3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制		—	2.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮				2.7	0.33		-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
	1	騒音		—	3.0	0.33		-	
	2	振動		—	3.0	0.33		-	
	3	悪臭		—	3.0	0.33		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40		-	
	1	風害の抑制		—	3.0	0.70		-	
	2	砂塵の抑制		—		-		-	
	3	日照阻害の抑制		—	3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制				1.6	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		—	1.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		—	3.0	0.30		-	



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

1 建物概要				
建物名称	(仮称)本郷通1丁目北の集合住宅 新築工事			
建物用途	集合住宅,			
延床面積	2,499.2 m ²			
	BEE	0.5	BEEランク	C

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	省エネルギー 性能 雪処理 省資源等への取組 緑化への取組 ★1=スコア(最低点～最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点～最高点)20%～40%以下 ★3=スコア(最低点～最高点)40%～60%以下 ★4=スコア(最低点～最高点)60%～80%以下 ★5=スコア(最低点～最高点)80%以上	
	省資源等		
	緑化		
	雪処理		

3. 重点項目のCASBEEスコア									
A 省エネルギー		(	最高点	29.5	最低点	8.8	)	合計	19.2点 / 29.5点
Q1 温熱環境	スコア	3.3	/ 3.4	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0	/ 4.0		
Q1 光・視環境	スコア	1.7	/ 6.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア	0.8	/ 2.0		
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	7.0	/ 10.0		
				LR1 効率的運用	スコア	2.4	/ 4.0		
B 省資源等		(	最高点	23.6	最低点	7.6	)	合計	10.8点 / 23.6点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.7	/ 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.5	/ 9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5	/ 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	0.5	/ 1.8		
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.1	/ 5.0		
				LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5	/ 4.4		
C 緑化		(	最高点	15.3	最低点	3.1	)	合計	3.1点 / 15.3点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9	/ 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.5	/ 2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	1.2	/ 6.0						
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5	/ 2.3						
D 雪処理		(	最高点	3.0	最低点	0	)	合計	0.0点 / 3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	/ 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0	/ 2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数